

2007年6月7日 看護情報学授業ディスカッション記録

発表者:笠松由佳さん

「THE INTERNET AND HEALTH COMMUNICATION Experiences and Expectations .Ronald E. Rice & James E. Katz .11.Experiencing Empathy Online.Jennifer J.Preece and Kambiz Ghozati.P233-260」

<発表後の質問・意見>

質問：団体の定義がなかったということだったが、どこに着眼して選んだのかというのは興味がある。個人が開設しているものも含んでいるのか？

回答：団体の定義そのものはわからない。団体のトピックスはYahooから抽出したという。いつの時点かは不明だが、5分の1が100団体にあたるということ。

質問：共感の定義は？共感と同情の違いなどは区別されているのか？

回答：共感の定義は心理学者のもの。Responding compassionatelyと表現されている。

意見：インターネットを患者さんが利用することを前提として扱っていかなくてはならないということだと感じた。2チャンネルなどは絶対紹介したくないと思っていたが、患者さんたちはみてしまう。どのように関わっていけばよいか戸惑う。

意見：2チャンネルで医師の名前が書かれており、心が病んで病院を辞めてしまった例もある。自分がそのように書かれた場合どうか？

意見：今回紹介した研究では、オンライン上の管理として、悪意のあるメッセージを管理者が削除し、悪意あるメッセージを放置しないことの重要性を述べていた。

意見：建設的な議論は、今回の分類では「共感的メッセージ」の中には入っていない。教育的な問題について議論をするような団体においては、建設的な議論が許されているような文化があるが、支援団体の中で同じようなスタンスで行うことは、患者さんたちに対して問題があるという意見もある。

意見：悪意のあるメッセージの予防が、会員制などが広まった根拠では？

意見：悪意のあるメッセージを書くのは、二度と会わないから書いても良いだろうという思いから。

質問：管理者の定義は？管理者の役割など。2チャンネルなどの掲示板では書き込んだ人が悪い気がする。管理者の責任が問われるのは何故か疑問に思う？

質問：管理者の定義として記載されているのは「ある人が、メッセージをチェックし、敵意があるかあるいはその他にもふさわしくない内容がどうかメッセージをチェックしている」との一文だけである。

書き込んだ人が特定できない場合は管理者に責任が問われる。平成14年5月に施行されたプロバイダ責任制限法というのがあるが、インターネットや携帯電話の掲示板などで誹謗中傷を受けたり、個人情報に掲載されて個人の権利が侵害されるなどの事案が発生した場合、プロバイダ事業者や掲示板管理者などに対して削除するよう要請するものであるが、強制力や罰則はない。